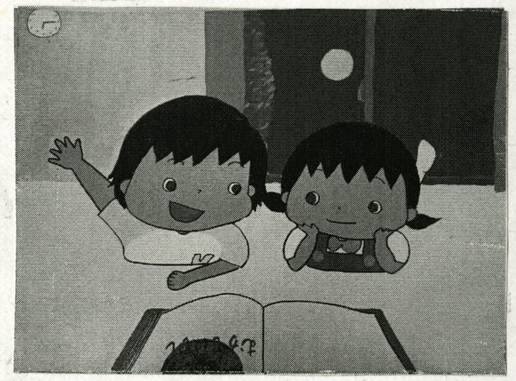


月がきれいに輝く夜のことです。
お兄ちゃんのカズくんと妹のナナちゃんはとっても仲良しです。
どこに行くのも何をするのも一緒。
今日は「地球の昔話」という絵本を読んでいます。
ナナ「お兄ちゃん、昔の地球のこと知ってる？」
カズ「うん。アンモナイトとか恐竜とかマンモスがいたんだよ。」
ナナ「恐竜ならナナも知ってるよ。恐竜が本当にいたらこわいなあ。」
カズ「大丈夫だよ。僕がついてるよ。」
そのときです。絵本が急にキラと光り出しました。
眩しさに二人は手で目を覆いました。
すると、二人の体が浮き上がり、
二人は絵本の中へ吸い込まれて行きました。

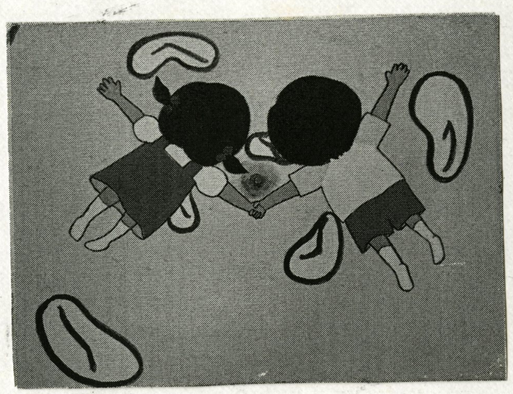
ぬきながら

ちしつかみしばい

カズくんとナナちゃんの

ふしぎなものがたり

おおさかきょういくだいがく
ちしつがくけんきゅうしつ　かわはらりさ　さく



カズくんとナナちゃんは吸い込まれながら、お互いに手をぎゅっと握りました。二人はキラキラとした光の中を飛んでいきます。突然、周りが暗くなりました。遠くの方に小さな小さな青い点が見えてきました。

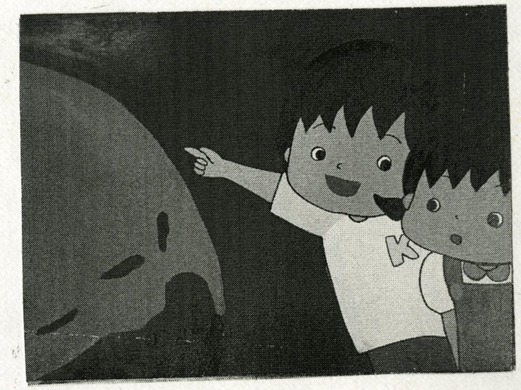
ナナ「お兄ちゃん、あれ何だろうね。」

青い点はみるみるうちに大きくなっていきます。

線までぬく

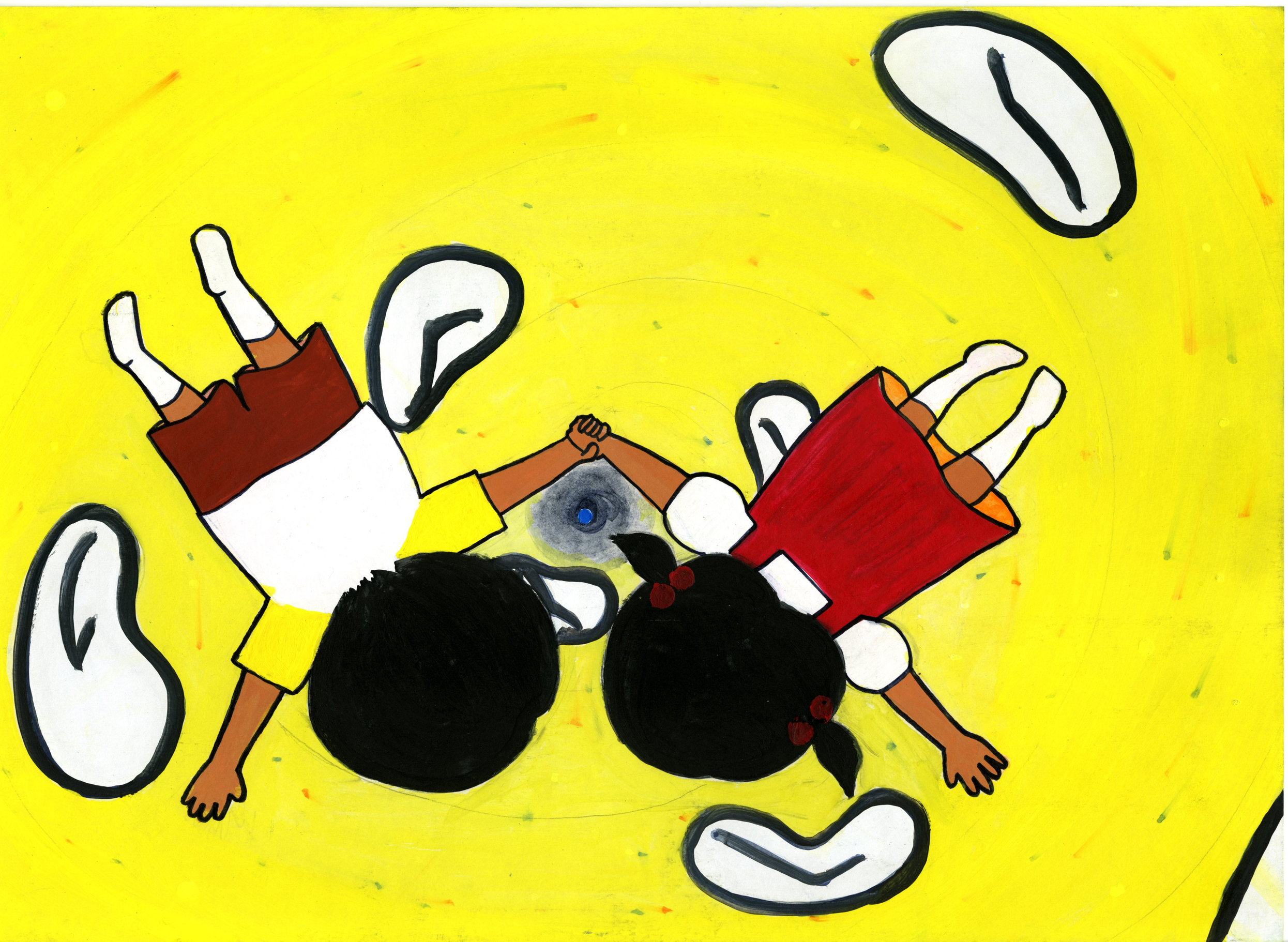
ぬく

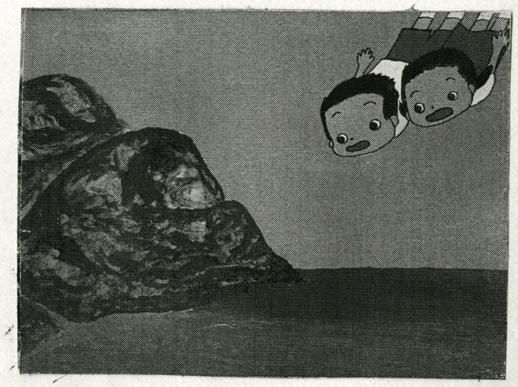
の
むかしばなし



力「あれは地球だ！青い地球だよ！」
二人はどんどん地球に近づいて
いきます。

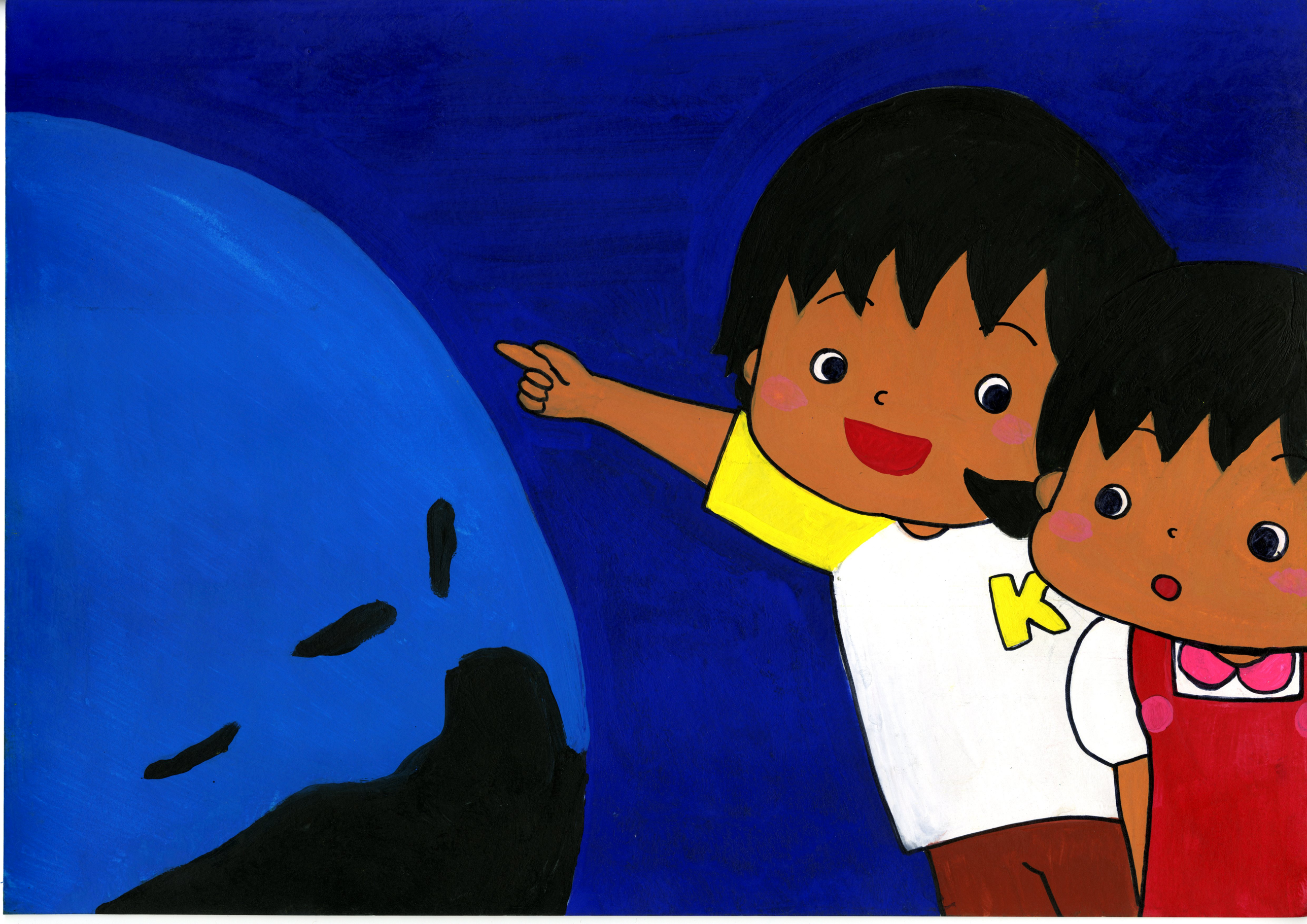
ぬく

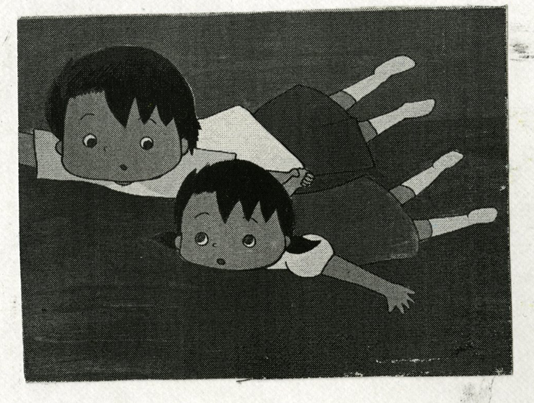




ナ「大きな山が見えてきたね。」
カ「でも、なんだか変だなあ、山は黒っぽくて木とか全然ないね。」
二人はどんどん落ちていきます。
二人「わあ、わあ、落ちるー！」
どっぼーん

すばやくぬく

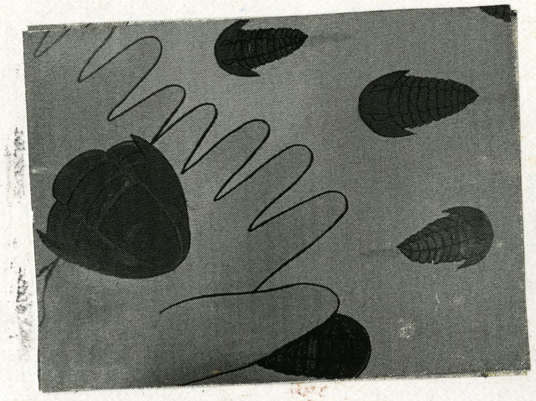




二人は海の中に落ちたようです。
カ「ナナ、大丈夫？」
ナ「うん、大丈夫。」
二人は海の中をすいすい泳いでいきます。
ナ「お兄ちゃん、お魚さんがいないね。」
カ「ほんとだね。ねえ、みてみて。あそこに変なのがいるよ。」
ナ「なんだろうね。」
カ「行ってみよう。」
カ「これは、三葉虫だよ。」
ナ「さんようちゅう？何の幼虫？」
カ「幼虫じゃないよ。三葉虫だよ。」
ナ「ふーん。」
カズくんは三葉虫を捕まえました。

線までぬく

ぬく



すると、三葉虫は体を丸めて丸くなりました。

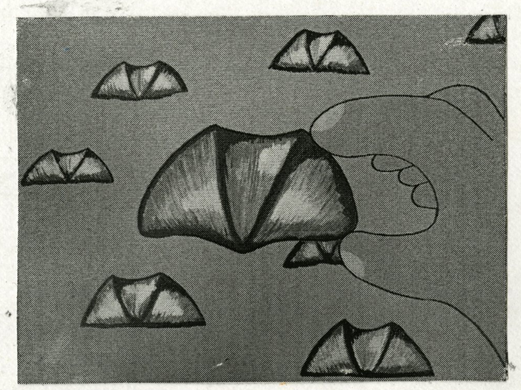
ナ「うわあ！ダンゴムシみたい！」

カ「かわいそうだから、はなしてあげようね」

カズくんは丸まった三葉虫をそっともとの場所に戻してあげました。そして、二人は泳ぎ出します。

カ「ナナ、みてみて」

ぬく



ナ「貝かなあ？」
カ「これは貝じゃないんだ。脚足類って言って、古生代の生き物だよ。」
ナ「ワ・ン・ソ・ク？」
カ「うん。二枚貝のような殻の中に脚があって、その脚に足がついてるんだよ。」
ナ「貝の中の脚に足？」
ナナちゃんは変な生き物を想像しています。

ぬきながら

ナ「えー。なんか気持ち悪いよ。」

二人はいつの間にか海に行きつきました。海の中生代の海くさんのアンモナイトがいます。その中にはたナナちゃんがアンモナイトを見て言いました。

ナ「お兄ちゃん、あれはアンモナイカタツムリ？」

カ「ブッブー。あれにいっぱいいた生き物だよ。カタツムリみたいな殻を持ってるけど、タコトって言って中生代の仲間なんだ。」

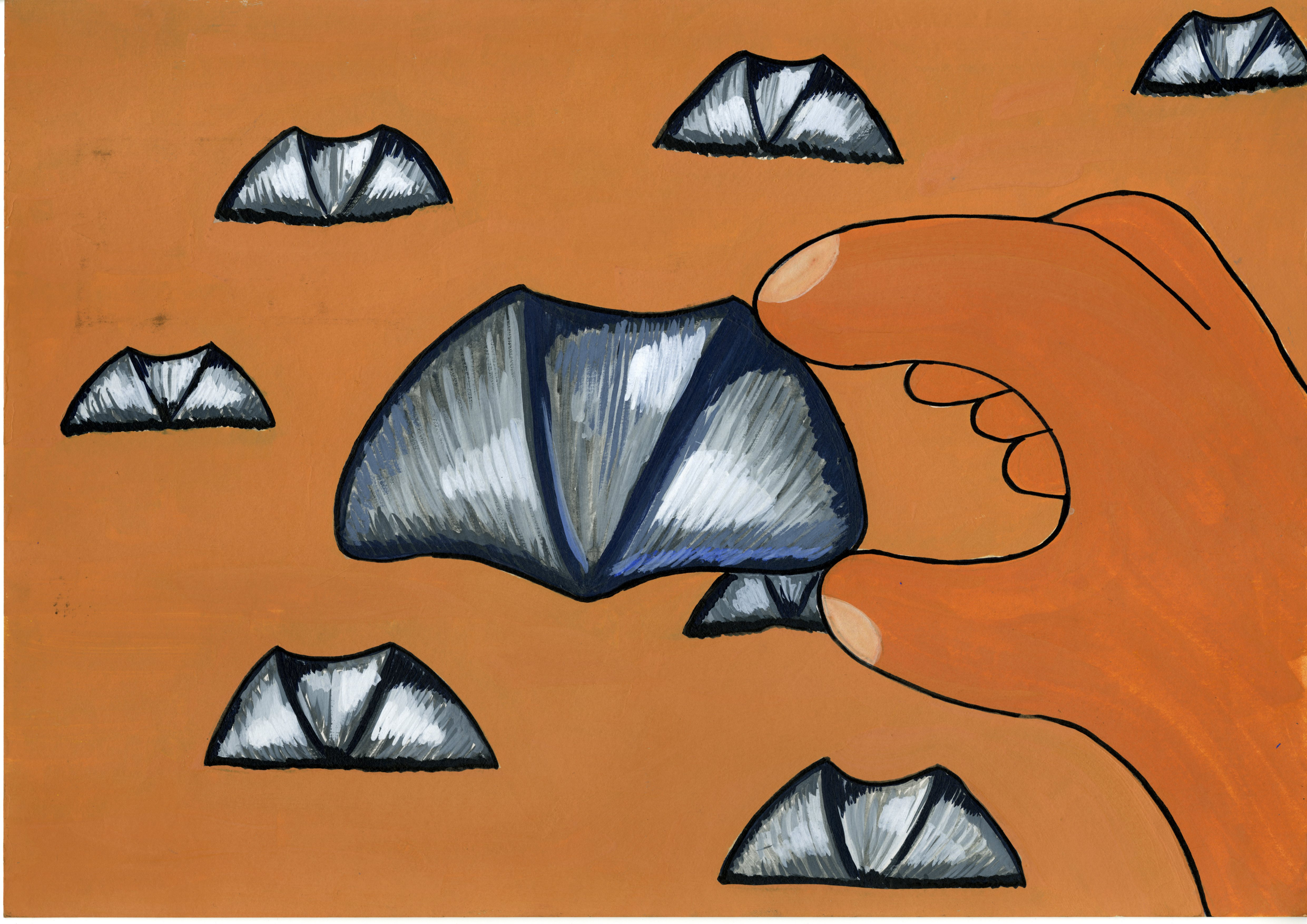
ナ「タコにカタツムリの殻か。じゃあ、タコツムリだね。」

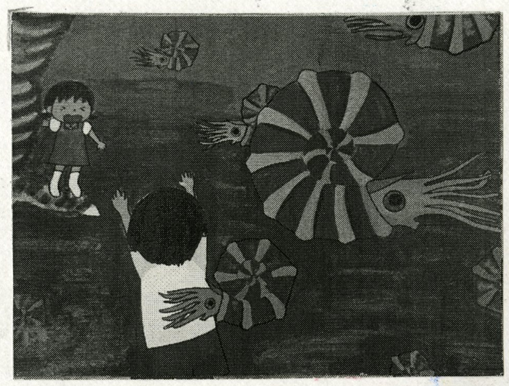
カ「これにはカズくんも思わず苦笑いです。

そのときです。突然ナナちゃんが乗っている岩が動き出しました。

線までぬく

ぬく

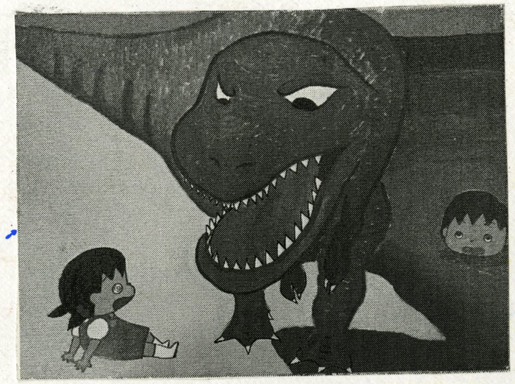




ゴゴゴゴゴゴオ
ナっお兄ちゃーん。」
カ「ナナー。」
ナナちゃんが岩に乗っ
海面に向かって上がって
一体何が起こったのでし
ょう。

ゆらす

ぬく



ナナちゃんの乗っていた岩は実は恐竜の足だったのです。
カッナナが恐竜に食べられてしまう！」
恐竜は今にもナナちゃんを食べようと大きな口を開けています。

ぬく

そのときです。空が一瞬明るく
なり、けたたましい音が鳴り響き
ました。
バリバリバリバリ
ドゴゴゴゴゴゴゴ
地面が大きく揺れています。
ドゴゴゴゴゴゴゴ

ゆらす
ぬく

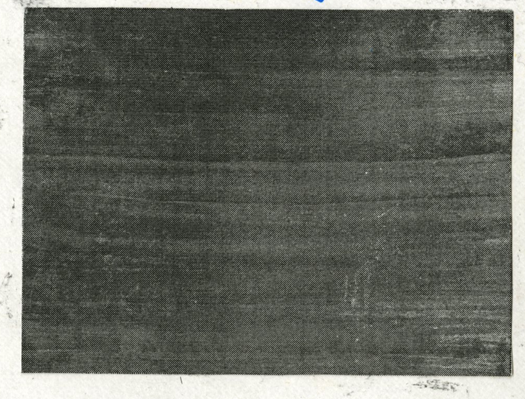
カ「ナナ！大丈夫てけがはない？」
ナて大丈夫。さっきの音すごかっ
たね。地震かな？」
カ「きっと隕石だよ」
隕石が落ちてきたことでナナちゃんは助かりました。でも、隕石が落ちたために地球の気候が変わて、恐竜は絶滅してしまいます。そして、新しい時代。新生代のはじまりです。

ぬく

カ「ねえ、みてみて！　海にサメが
　いるよ！」
ナ「ほんとだ！　お魚さんもいっぱ
　い！　お兄ちゃん、象さんもいる
　よ。」
カ「あれはマンモスっていうんだ
　よ。」
ナ「なんだか水族館と動物園に
　いるみたいだね。」
二人の周りには、水族館や動物
園で見たことのある生き物でいっ
ぱいです。
カ「あっ、あそこに人がいる！」
カズくんが森の中にいる人を見
つけた次の瞬間、辺り一面がぱっ
と明るくなり、すぐうと、すぐ
に真っ暗闇になりました。

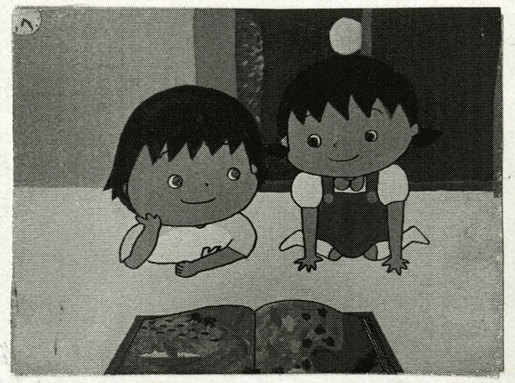
ぬく

K



カズくんとナナちゃんが目を覚ましました。

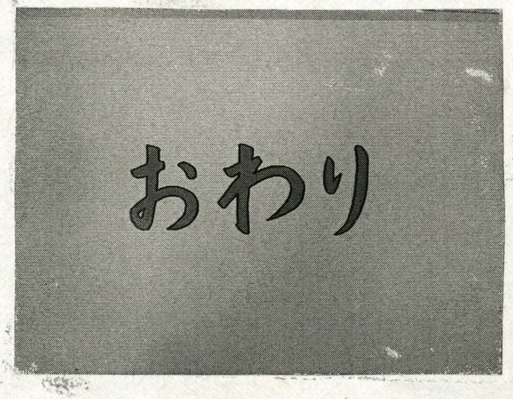
ぬく



二人の前にある絵本の中には、
今二人が見てきたマンモスやサメ
がいます。
カズくんとナナちゃんは部屋の
中をキョロキョロ見まわしました、
二人は目が合うとお互いにちょっ
と首をかしげクスクスと笑いま
した。
月がいちだんときれいに輝く夜
のことでした。

ぬく

おわり



ちしつかみしばい
カズくんとナナちゃんの
ふしぎなものがたり

ぬく

おわり